



[果樹部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

11. 岡山県で栽培した「ナガノパープル」の特徴

[要約]

岡山県で栽培した「ナガノパープル」は、「ピオーネ」と比べて生育がやや早く、産地や作型を問わず、着色が非常に優れる品種である。現地での「ナガノパープル」の栽培実態調査では、裂果が激しく発生する園があった一方で、発生が軽微な園もみられた。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 果樹研究室

[連絡先] 電話 086-955-0276

[分類] 情報

[背景・ねらい]

「ナガノパープル」は、長野県果樹試験場が育成した 3 倍体の黒色系品種で、着色が優れて食味がよく皮ごと食べられることから、県内でも注目され植栽が進んでいる。しかし、県内での栽培事例は少なく、栽培上の特性や果実品質の特徴等が明らかでない。そこで、「ナガノパープル」の生育及び果実品質を本県の主要品種である「ピオーネ」と比較するとともに、現地での栽培実態を調査し、岡山県で栽培した本品種の特徴を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 赤磐市の簡易被覆で栽培した「ナガノパープル」は、「ピオーネ」と比べて発芽日、満開日、果粒軟化日及び収穫開始日が 2～5 日早い（表 1）。
2. 赤磐市の簡易被覆で栽培した「ナガノパープル」は、「ピオーネ」と比べて着色が非常に優れ、カラーチャート（C.C.）値 10 以上の濃い黒色に着色する。また、「ピオーネ」と比べて果粒重はやや大きく、糖度はやや低いものの約 19 度で十分に高い（表 2、図 1）。
3. 県内各地の「ナガノパープル」を対象に行った現地実態調査では、8 割の園で果皮色の C.C. 値が 10 を超えていた（図 2 左）。
4. 現地実態調査では、作型に関係なく多くの園で裂果がみられた。約 3 割の園では裂果の発生果房率が 40% 以上で、発生果粒数も 1 果房当たり 0.3 粒以上と多かった。一方、約 5 割の園では裂果の発生果房率が 20% 未満と低く、発生果粒数も少なかった（図 2 右）。
5. 現地実態調査において、栽培上の課題とを感じる点を聞き取ったところ、裂果の発生、花穂の形状の悪さ、傷果及びしぼみの発生が多く挙げられた（データ省略）。

[成果の活用面・留意点]

1. 現地での栽培実態調査は、令和 7 年に農研及び県南部、県中部及び県北部の各産地の加温栽培、無加温栽培、サイドレス栽培及び簡易被覆栽培の計 20 園地で実施した。
2. 農業研究所における無核化・肥大処理では、「ナガノパープル」は満開期にジベレリン 25ppm＋フルメット 2 ppm 液、満開約 14 日後にジベレリン 25ppm 液で、「ピオーネ」は満開期のみでジベレリン 25ppm＋フルメット 10ppm 液でそれぞれ花穂を浸漬処理した。
3. 本品種は若木期に激しい裂果が発生する事例が多いものの、必ずしも成木期まで裂果が多いとは限らない。
4. 今後、裂果発生程度の園地間差の原因究明が必要である。



〔具体的データ〕

表1 「ナガノパープル」と「ピオーネ」との各生育時期の比較（令和6～7年）

年次	品種	樹齢	発芽日 (月/日)	満開日 (月/日)	果粒軟化日 (月/日)	収穫開始日 ^z (月/日)
令和6年	ナガノパープル	6	4/11 (-3) ^y	5/22 (-3)	7/1 (-4)	8/16 (-3)
	ピオーネ	10	4/14	5/25	7/5	8/19
令和7年	ナガノパープル	7	4/14 (-4)	5/26 (-2)	7/3 (-3)	8/13 (-5)
	ピオーネ	11	4/18	5/28	7/6	8/18

注) 赤磐市(農研)におけるデータ

^z 収穫開始日は食味による減酸の程度で判断した

^y ()内の数字は同年の「ピオーネ」の同生育ステージとの差(日数)

表2 「ナガノパープル」と「ピオーネ」との果実品質の比較（令和6～7年の平均）

品種	果房重 (g)	果粒重 (g)	果皮色 (C.C.値)	糖度 (° Brix)	酸含量 (g/100ml)	果汁 pH	裂果 (粒/房)
ナガノパープル	646	19.1	10.8	18.9	0.40	3.73	0.1
ピオーネ	563	17.8	6.5	19.9	0.47	3.49	0.1

注) 赤磐市(農研)におけるデータ



図1 「ナガノパープル」（上段）及び「ピオーネ」（下段）の着色の様子（令和7年）

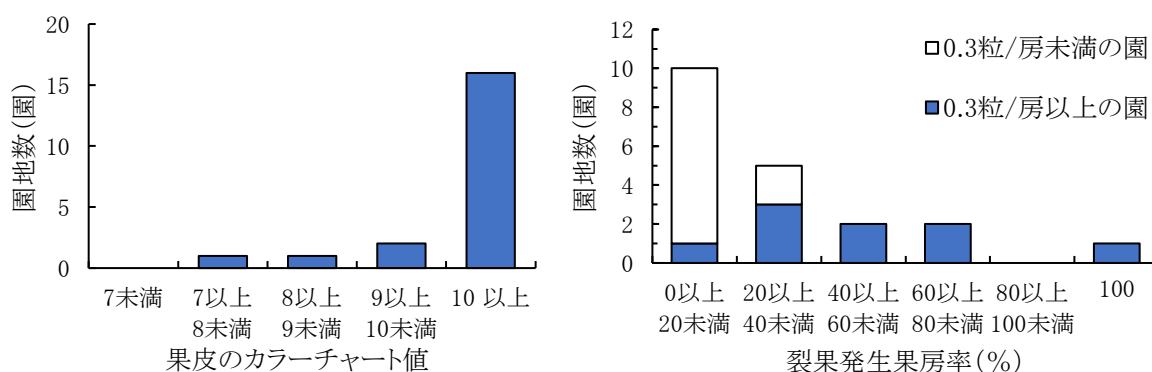


図2 現地調査園及び農業研究所の「ナガノパープル」の果皮カラーチャート値（左）及び裂果の発生率（右）とその園地数（令和7年）

〔その他〕

研究課題名：注目される県内外のブドウ品種に適した栽培技術の確立

予算区分・研究期間：県単・令7～11年度

研究担当者：平井一史、渡辺真帆、中島 譲、上田一輝、久保田朗晴、白石陸人、荒木有朋

関連情報等：1) 試験研究主要成果、[令7 \(29-30\)](#)